

一般社団法人 National Clinical Database
2016 年度事業報告書

National Clinical Database（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果を以て一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。本年度は、以下の社会事業を実施した。

（1）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- 症例登録システムにおける各領域の仕様変更を受け付け、入力項目の画面やアップロード機能の改修を継続して行った。
- ソフトウェアの品質を確保しながら効率的な開発をするため、設計・開発・テストの工程管理の把握に努め、作業方法等の手順化を進めた。
- **NCD** 登録症例データを利用した集計・分析結果を確認できるフィードバック機能の開発を継続して行った。

（2）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 各領域の研究プロジェクト、学術調査、アニュアルレポートに寄与した。
- **Web** オーディット、**E** ラーニングのコンテンツづくりに寄与した。
- 自施設における **NCD** データダウンロードの有用性等について検討した。

（3）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 専門医制度等と連携した各種申請システムの維持管理及び開発を継続して行った。
- 一部の領域でデータベースを **NCD** に移行する技術的検討及び開発を継続して行った。
- 経カテーテル大動脈弁治療（**TAVI**）用生体弁「サピエンXT」及び「コアバルブ」の使用成績調査において、**TAVR** 関連学会協議会の症例登録事業と連携して開発・改修を行った。
- 市販後調査（脳神経外科領域の **Flow Diverter** 等）に伴う症例登録システムの開発、関連業務を行った。
- 医薬品医療機器総合機構（**PMDA**）に関連した再生医療患者登録システムの運用設計を行い、それに基づき日本再生医療学会の臨床研究データ登録システムの設計支援を行った。

（4）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- データの質の検証業務（施設訪問、手術件数調査等）。
- 施設会費の問い合わせ業務、会員登録に伴う業務（HP上に問合せフォームを整備）。
- 社員学会の入社手続き業務（日本泌尿器科学会、日本形成外科学会）。
- **NCD** の業務内容を考慮したリスク管理や情報セキュリティ対策業務（プライバシーマーク付与の認定）。

以上